

# 平成 30 年度 第 2 回 熊本市社会教育委員会議

## 会議録

【開催日時】平成 31 年 3 月 18 日（月）14:00～16:00

【開催場所】熊本市教育センター 中研修室

### 【出席者】

#### ■ 社会教育委員

小澤 雄二 委員  
諏訪園 勉 委員  
中川 ケイ子 委員  
加藤 貴司 委員  
大館 敬七郎 委員  
高木 徳文 委員  
東田 恵子 委員  
山平 敏夫 委員

《欠席者》

橋口 健二 委員

#### ■ 事務局

- ・ 教育政策課長 上村 鋭二
- ・ 指導課長 松島 孝司
- ・ 青少年教育課長補佐 河津 みづほ
- ・ 金峰山少年自然の家所長 中村 正幸
- ・ 熊本市立図書館長 坂本 三智雄
- ・ 熊本博物館長 植木 英貴
- ・ 生涯学習課長 渡部 秀和
- ・ 首席審議員兼スポーツ振興課長 松川 善範
- ・ 文化振興課副課長 中元 正人

- ・ 永嶋指導主事（スポーツ振興課）
- ・ 川口社会教育主事（生涯学習課）
- ・ 西主幹兼主査（生涯学習課）
- ・ 松本主幹兼主査（生涯学習課）
- ・ 松原参事（生涯学習課）
- ・ 大森主任主事（生涯学習課）

以上 15 人

### 【会議資料】

- ・ 平成 30 年度 第 2 回熊本市社会教育委員会議 会議資料
- ・ 【報告（1）】熊本博物館のリニューアルオープンについて
- ・ 【報告（2）】白川公園内複合施設（中央公民館・白川公園）にかかる指定管理者について
- ・ 【報告（3）】公民館のあり方検討について
- ・ 【報告（4）参考資料】熊本市生涯学習指針（答申）概要版
- ・ 【報告（4）参考資料】熊本市生涯学習指針について（答申）
- ・ 参考資料（関係法令）

発言者	発言要旨
	<b>【開会】</b>
生涯学習課長	<b>【あいさつ】</b>
<b>【議事 (1)】</b>	平成30年度学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について 事業説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びノート教室サポーター数について 資料P5-1-(8) 学びノート教室サポーター数の176人の内訳について教えていただきたい。</li> <li>・子ども科学・ものづくり教室の指導者について 資料P8-2平成30年度の講座実施状況について、表中の指導者について、「研究員」とはどのような方々か教えていただきたい。</li> <li>・家庭教育セミナーについて 資料P12-1-(1)-ア家庭教育セミナー表中の件数について、71件のうち、ワークショップ型と講演型の内訳と、小学校のみならず幼稚園での実施もあるのか現況を伺いたい。</li> </ul>
指導課長	<p>学びノート教室サポーターの数は、教職員を除く人数になります。いろいろな方々にご協力いただいておりますが、全般的に女性の方が多いと認識しています。若干ではありますが、学生の方にもご協力いただいております。</p>
博物館長	<p>子ども科学・ものづくり教室の指導者は、記載の「研究員」も当館の職員です。博学連携を強化するため、教職員に当館にきていただき、いろいろな講座を実施し、学校教育とのつなぎ役を担っていただいておりますので、その役職名称を「研究員」としてしています。現在、理工を担当している先生においでいただいております。</p> <p>指導者のうち「ものづくりサークル」と記載していますのは、学校の理科の先生などの任意でグループをつくり、指導員となっていたいただいている方々です。</p>
青少年教育課長補佐	<p>家庭教育セミナーの実施状況については、詳細の手持ち資料がありませんので後日提出させていただきます。幼稚園、保育園での実施については、数件あっております。全体の内訳につきましては、講演型が多いですが、2～3割程度がワークショップ型と思われます。詳細は、後日資料の提示を行いたいと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育リーダー養成講座の実働数及び修了生のネットワーク強化について、資料P12-1-(1)-イ家庭教育リーダー養成講座の修了生は200人を超えるが、実働数は少ないとのことですが、実際の実働数について教えていただきたい。 また、資料P13-2-(1)-イ ステップアップ研修では、ネットワーク強化について、修了生のどのような方々を中心として、ネットワーク構築をお考えなのか伺いたい。全員なのか、実働している方だけなのか、また、その一部なのか。</li> <li>・家庭教育地域リーダーステップアップ研修等研修実施後の振り返りについて、「親の学び」プログラムでは、ワークショップをされていると思いますが、いろいろな方々が受講されている中、そのフィードバックをどのようにされているのか伺いたい。 また、P12-1-(1)ウ家庭教育地域リーダーステップアップ研修のみならず、地域リーダー同士での反省会ではないですが、フィードバックはお互いされているのかお尋ねしたい。</li> </ul>

発言者	発言要旨
青少年教育課長補佐	<p>ステップアップ研修については、本年度5回講座を行いました。同じ時間帯に行っており、来られる方が限られますので、例えば、夜間に行ったり、場所を変えたりしながら、リーダー養成講座から、ステップアップ研修にシフトした形で活動したいと考えております。その中で、新たな参加者の増加についても期待しているところです。</p> <p>フィードバックについては、現在、一部で勉強会等をされている方もいらっしゃいますので、そのような活動が広まっていけばと期待しております。</p> <p>家庭教育リーダー養成講座の実働数については、手持ち資料がございませんので、後日、合わせてお知らせいたします。</p>
<b>【議事(2)】</b>	<b>平成31年度熊本市社会教育関係事業について</b> 事業説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館子ども活動経費について(P15)、公民館の予算で、子ども活動支援経費が減っていますが、熊本市の次の時代を担っていく子どもたちを支援するための予算ですので、ぜひ少しずつでも増えよう確保していただきたい。</li> <li>・全事業をとおして、学校・家庭・地域の連携協力推進事業ですが、それぞれの事業において子どもたちの居場所づくりに取り組んでいただけたらと思います。また、全体的に、中学生や高校生の若者に対する事業が少ないかなと感じました。できれば、事業の中で、中高生のボランティア活動等の活躍の場を設けていただきたい。</li> </ul>
生涯学習課長	<p>子ども活動支援経費については、なるべく減らすことがないように取り組んでいるが、今回は全体的に国庫補助額が下がったため、下げざるをえなくなっております。ご理解いただきたい。</p> <p>中高生の活動の場については、ボランティア活動等の支援の中で、活動の場を広げて活躍していただけるよう、心がけておりますので、今後も継続して努力してまいりたいと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館のリニューアルに伴い、予算も増えているので頑張っていたところですが、先ほどお話しいただいた、子ども科学・ものづくり教室のほか、学校へも出前講座で行かれて普及に努めているということですが、博物館の人員体制について教えてほしい。</li> <li>・釜尾古墳は、全国的にも貴重な装飾古墳だと思いますが、被災後の保存管理と現状について伺いたい。</li> </ul>
博物館長	<p>当館は、塚原歴史民俗資料館を含め11名の学芸員と事務職の人員体制となっています。</p> <p>全館開館が5年5か月ぶりということもあり、博物館を知らない子どもたちも多い現状ですので、まずは、博物館を知っていただきたいという思いで、限られた人員ではありますが、土日や連休を利用した企画も行なっていきたいと考えています。</p> <p>リニューアルオープンしましたので、やはり、館内で行う講座がメインとなりますが、引き続き、出前講座や博学連携で学校から来ていただいたり、出向いたりの講座も行っています。</p>
文化振興課副課長	<p>釜尾古墳は、おっしゃるとおり装飾古墳で中の温湿度管理を丁寧に行っていく必要があります。古墳の被災については、全国的にもあまり例がなく、全国の前例となりますので、専門家のご意見を伺いながら慎重に進めているところです。当初はビニールシートで覆っていましたが、乾燥による墳丘等への影響が認められたため、現在は、透水性のシートを使い、湿度を保ちながら対応しています。</p>

発言者	発言要旨
委員	<p>・事業全体と今後の取組について</p> <p>ご説明を伺い、いろいろな教育の受け皿を準備されていることに感心いたしました。継続した学習は、個人の学習意欲を掻き立てるものがあると、あとは自主的に学んでいくところも大きいと思います。</p> <p>子どもや中学生を対象に、学ぶことで広がる世界について、例えば、有名アスリートやジャーナリストを招いての講演や、体験の場を設けることで世界が広がっていくのではないかと思います。そのような経験から、継続的に子どもたちが学んでいける環境がつかれるのではないかと思います。そのような取り組みをしていただけたらと思います。</p>
委員	<p>・図書館利用について</p> <p>図書館では新システムを導入し、利便性が増すとのことですが、は一もにい情報図書室を利用する場合、駐車場代が必要であり不便である。</p>
図書館長	<p>は一もにいの駐車場使用料については、管轄が異なりお答えできないが、新システムを利用して公民館図書室での予約や返却もできるので、ご利用いただきたい。</p>
【報告(1)】 博物館長	<p><b>熊本博物館のリニューアルオープンについて</b></p> <p>リニューアルオープンから3万3千人超のお客様においでいただいております。現在、未公開のコレクションの公開を行ったり、個人コレクションの展示にも力を入れております。熊本地震についての特別展示も行っております。</p>
	<p>質問・意見無し</p>
【報告(2)】 生涯学習課	<p><b>白川公園内複合施設（中央公民館・白川公園）にかかる指定管理者について</b></p>
	<p>質問・意見無し</p>
【報告(3)】 生涯学習課	<p><b>公民館のあり方検討について</b></p>
委員	<p>・社会教育主事の配置について、今後、何か変更があるのか伺いたい。</p> <p>・社会教育主事の資格取得に関し、現在、教職員への募集をかけているが、社会教育主事の数が減っていることもあり、将来的にどのようなのか伺いたい。</p>
生涯学習課長	<p>第1期の市長マニフェストで、社会教育主事の配置について検討したところですが、中央公民館を含め、公民館条例施行規則中の公民館に社会教育主事を置くことについては変更ございません。</p> <p>社会教育主事の資格取得につきましては、今後も学校への募集依頼をしていく方向で変更はありません。</p>
委員	<p>・公民館の利用制限とスポンサー制度について</p> <p>第2期の市長マニフェストにあります「利用の自由度を高めるとともに、スポンサー制度を導入」とありますが、今現在、どのあたりが自由ではないのか、制限があるのか伺いたい。また、スポンサー制度とはどのようなものか。</p> <p>・今後の公民館の指定管理者制度導入について</p> <p>中央公民館に指定管理制度を導入されたが、残りの18館についても指定管理者制度を導入していくのか、今後の展望を伺いたい。</p>

発言者	発言要旨
生涯学習課長	<p>平成 30 年度の公民館施設利用状況は約 40%の稼働率となっております。自由度を高めるとは、市民の誰もが使用できることと認識しており、具体的方策はこれからになります。</p> <p>使用制限としては、「物販ができない」「飲食ができない」等がございます。</p> <p>スポンサー制度については、ネーミングライツではなく、地域の伝統行事を保護・育成するための拠点施設となり、スポンサーが生まれてくることにより活動の幅が広がったり、財源を確保したり、そのような内容ではないかと認識しております。具体的検討は、今後議論していくこととなります。また、公民館の指定管理者制度導入については、中央の管理状況を分析評価しながら進めてまいりたいと考えています。</p> <p>今後も、適宜、社会教育委員会議や公民館運営審議会の皆様にご意見をお伺いしたいと存じます。</p>
委員	<p>先ほどの稼働率約 40%は、調理実習室等、特定の部屋の空きが多いのではないかと思います。会議室やホールの利用はもっと稼働率が多いと思います。市内中心部の利用率は高いと思いますので、周辺部の利用促進を図るため、今後、使いやすさを考えることはいいことだと思います。</p> <p>ただ、物品販売は、社会教育法に基づく施設なので、  ○もっぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること  ○特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること  ○特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援してはならない  と、明記してありますので、社会教育法から外した施設にすれば、現在のコミュニティーセンターのような活用はできるのかなと思います。そのようなことを含めて検討されると思いますのでよろしく願います。</p>
生涯学習課長	<p>おっしゃるとおり、社会教育法の壁があることは承知しております。地域を見渡しますと、公設公民館、コミュニティーセンター、地域公民館など、地域には色々な施設があります。そのような中、現在の公設公民館がどうあるべきなのかということを踏まえ、市民の方々、団体の方が前よりも利用しやすくなるよう議論してまいりたいと思います。</p>
委員	<p>先ほどおっしゃった飲食については、市の裁量でできるのではないかと思います。ずいぶん前になりますが、公民館で結婚式をしていた町村などもあったので、社会教育施設だからできないわけではないと思います。立地によっては近くに飲食店がない場所もあるので、飲食の程度については、見直しができないのかなと思います。</p>
生涯学習課長	<p>公民館規則や管理マニュアルに飲食についての記載がありますが、今後、あり方の中で検討させていただきたい。</p>

発言者	発言要旨
<p><b>【報告(4)】</b> 生涯学習課</p>	<p><b>熊本市生涯学習指針の現状について</b></p> <p>平成31年度からの新たな指針の策定にあたり、熊本市生涯学習指針策定委員会を設置し、学識経験者、学校関係者、社会教育団体、民間教育事業者、NPO、市民公募委員など10名の委員の皆様から、計4回のご審議をいただき、平成30年11月に答申をいただきましたが、現在、第2期市長マニフェストとのすり合わせのほか、すべての事務事業等との再点検を行っているところです。</p> <p>特に、公設公民館については、先程ご報告しましたとおり、市長マニフェストで利用の自由度を高めることなどが掲げられております。また、次年度は、「熊本市第7次総合計画の中間見直し」や「熊本市教育大綱の改訂」も予定されていることから、本市の生涯学習をとりまく状況も大きく変わることが見込まれます。</p> <p>このようなことから、庁内で更に議論を深め、答申内容をベースとした生涯学習指針を策定していくことをご報告いたします。</p>
	<p>質問・意見無し</p>
<p>議長</p>	<p>これをもって本日の議事を終了する。</p>